

# 石蓆梁山泊

～つわぶきの野で夢を叶える～

島根県立津和野高等学校

女子バレーボール部

島根県鹿足郡津和野町後田ハ 12-3

TEL (0856) 72-0106

FAX (0856) 72-0329



## 令和2年11月号 (VOL.56)

### I・島根県高等学校バレーボール選手権大会 (春高予選) 報告!

新型コロナウイルス感染症の流行拡大によって、今年度は次々と公式大会が中止になるなか、8月8日に春高バレー全国大会無観客開催が決定されました。そして今回、令和2年度島根県高等学校バレーボール選手権大会兼第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会島根県予選大会の開催となりました。県大会レベルの開催は、昨年度県新人戦以来で今年度は初めてとなります。日々進化し続ける本校にとっては、今までの練習の成果を発揮する絶好のチャンスとなりました。もちろん目標はチャンピオン。頂点を目指す挑戦がいよいよ始まりました。

今回は、各チームの応援団の入館が条件付き(人数制限30名・事前申請・声出し禁止)で認められました。遠方にもかかわらず選手の保護者様・ご家族様だけでなく、卒業生や卒業生の保護者様にもご来場、ご観戦いただき、とても心強く戦うことができました。心より、お礼申し上げます。

本校はトーナメント2回戦からの出場となり、初戦の対戦相手は、堅実なプレイが特徴の平田高校さん。お互いに様子を伺いながら、慎重な出だしとなりました。結果はセットカウント2-0のストレート勝ちをおさめ、順調なスタートを切ることができました。そして3回戦は出雲農林高校さんとの対戦で、いきなり大きな山場をむかえます。1セット目は先取されるものの、2セット目、3セット目と津和野高校の粘り強さが勝利を呼び込み、セットカウント2-1で勝利しました。2, 3セットは1点を奪い合う拮抗したゲーム展開となりましたが粘り強く、崩れることなく勝利できました。この勝利には3年生の存在が大きかったと思います。リベロとして常に3年生がコートにいる状況で、1, 2年生にとっては、3年生の存在が大きな“安心感”になりました。苦しいときに3年生からかけられる言葉は、何よりも心強い後押しになったと思います。そして準々決勝では、第3シードの松江南高校さんとの対戦となりました。3回戦で勝利した勢いそのままに戦うことができ2-0のストレート勝ちを収めることができました。

そして最終日。第2シードの大社高校さんとの対戦。初めての最終日の戦いに、緊張感も今までの試合とは比べものにならないほど高まります。慎重になりすぎる場面が多く、攻めきれないまま試合終了となりました。経験不足が大きな敗因だと思います。そして最終順位が第3位となりました。

今大会では、津和野高校にとって歴史的な初のベスト4入り、第3位という結果を残すことができました。しかし、私たちの挑戦は終わっていません。私たちの目標は、あくまで『優勝』すること、頂点に立つことです。今大会を自信と確信にして、更なる課題克服に向けて練習してまいります。多くの方々を支えていただいていることに、あらためて感謝し、更なる上を目指し日々精進していきます!

#### 【試合結果】 \*詳細裏面

- 2回戦 (10/30) ○ 津和野 2 { 25-15 25-17 } 0 平田 ●
- 3回戦 (10/31) ○ 津和野 2 { 17-25 25-23 25-23 } 1 出雲農林 ●
- 準々決勝 (10/31) ○ 津和野 2 { 25-20 25-20 } 0 松江南 ●
- 準決勝 (11/1) ● 津和野 0 { 12-25 22-25 } 2 大社 ○





## 主将 知念 陽菜（2年・浜田一中出身）

今回の県選手権大会は、3年生とプレイできる最後の大会でもあり、これまで練習してきた成果を存分に発揮したいと思い試合に臨みました。代替大会を終えて、私がキャプテンになり、チームをまとめることも、引っ張ることもできなかったところを3年生が支えてくださいました。進路実現のために一度、部活から離れられた3年生ですが、戻ってきてくださり、一層勝ちたいという思いを強くし、練習してきました。

今大会は、コート内で相手をしっかり見て、積極的に話しながら、冷静にプレイすることを全員で心がけていこうと話合っていました。今までは、自分のプレイを中心に考えながら試合することが多く、ひとつのミスが原因で、チーム全体が大きく崩れることが多かったように思います。しかし、今大会では相手を見て、チームメイトと積極的に会話することで情報の共有もでき、全体的に落ち着いて、自分たちのプレイができていたと思います。相手を見て、情報の共有を素早く行うことの重要性をあらためて感じました。

そして、今大会で、それぞれが落ち着いてプレイできたのも、ベスト4という結果を残すことができたのも3年生がいてくださったからです。プレイでも、プレイ以外でも3年生の支えがあったからこそ、自分たちの持ち味を発揮することができました。3年生には、感謝しかありません。

県選手権大会が終わって、完全な新チームとなりました。今度は、私がプレイでも、それ以外でもチームを引っ張っていきたいと思います。3年生に頼りきっていた部分も多いので、視野をもっと広げ、様々なことに気付いて行動していきます。そして、県大会で優勝し、全国の舞台でプレイすることを目標に突き進んでいきます。津和野高校女子バレーボール部は、これからも進化し続け、島根県高校バレー界の歴史を変えていきます。

これからも応援よろしくお祈りします。本当にありがとうございました。



## 島田 咲（3年・江津中出身）

高校最後の試合が終わりました。最後の県大会でベスト4という結果をのこすことができ、今は嬉しい気持ちでいっぱいです。これまで、どの試合でもベスト8にも入ることができず、悔しい思いをしてきました。しかし、今回は結果を出すことができて3年間やってきたことは無駄ではなかった、途中で辞めなくてよかったと思うことができました。津和野高校でバレーをしてきて、本当に良かったとあらためて思いました。

今までは「ベスト4に入りたい。」という気持ちでやってきましたが、最終日に勝ち残ると「センターコートでやりたい。」という気持ちに変わりました。しかし、私たち3年生にとっては今回が最後の試合で、もうそのチャンスはありません。それが悔しく、心残りです。だから、1、2年生が、これからの大会で成し遂げてくれると信じています。

今回、この結果を得ることができたのは、1、2年生のおかげです。みんなにとっても感謝しています。これまで先生方や保護者の方、卒業された先輩方など、いろいろな方に助けられ、支えられてやってきました。少しは、この結果を通してご恩がお返しできたのではないかと思います。

たくさん応援してもらって、本当にありがとうございました。



## 池部 栞（3年・阿東中出身）

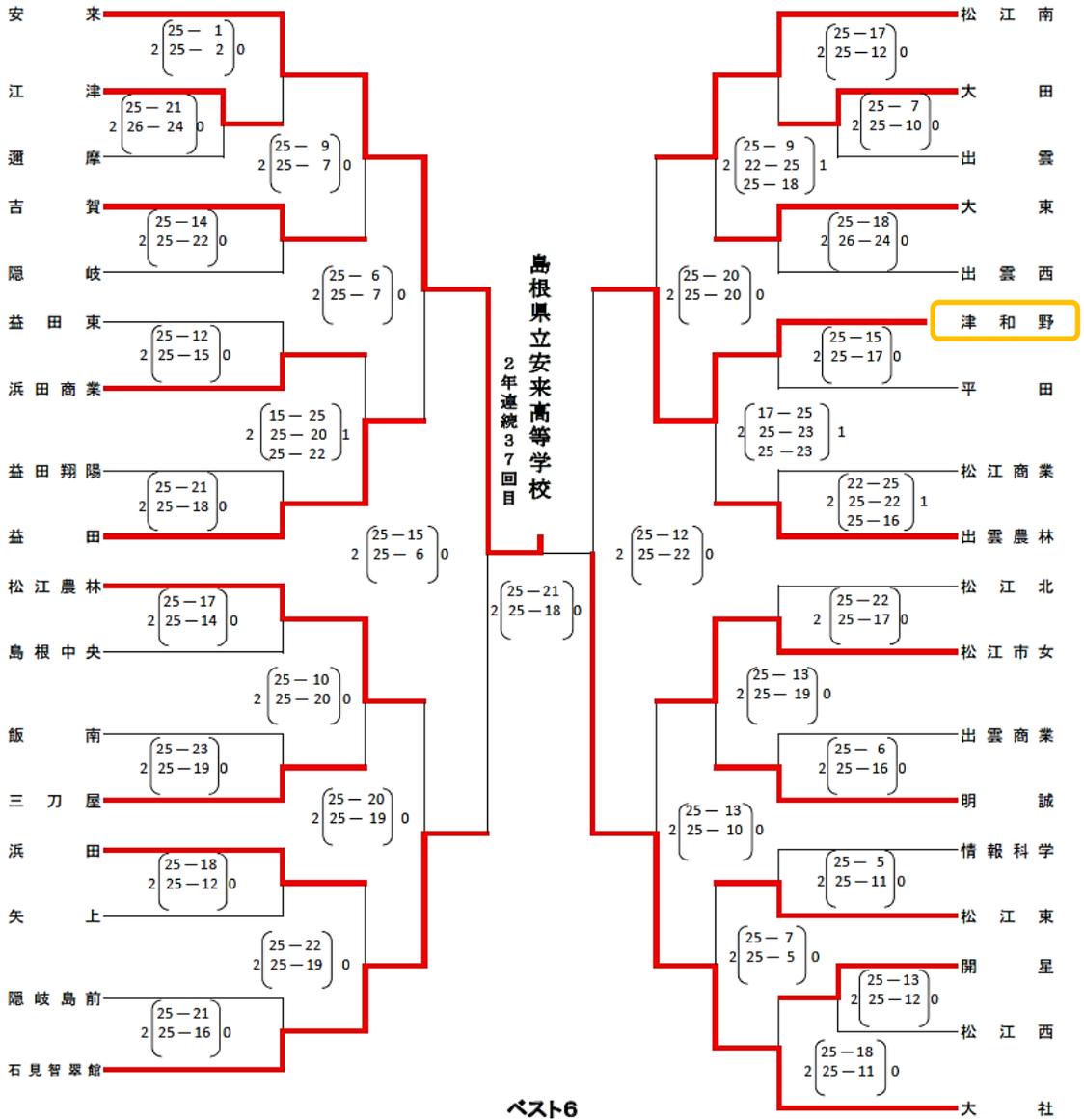
今大会で、津和野高校初のベスト4になれたこと、とても嬉しく思っています。しかし、今でもベスト4になった実感がありません。テレビなどで取り上げていただいているのを見ると、ベスト4になったのだと思います。津和野高校に入学して、女子バレーボール部に入部して3年間、目標の優勝には届きませんでしたが、ベスト4と、一歩近づくことができました。今までお世話になった先輩方や、応援してくださる保護者の皆さんに恩返しができると思います。そして、私は一番に両親に感謝を伝えたいです。練習が遅くなると、学校まで迎えに来てくれたりと、こうしてバレーボールを続けられたのも両親のおかげです。本当に感謝しています。

私たち津和野高校女子バレーボール部は優勝を目指して練習しています。今回、優勝することはできませんでしたが、その悔しさは、1、2年生に託します。絶対に優勝してほしいと思います。そして、これからも津和野高校女子バレーボール部にはもっと、飛躍してもらいたいです。

たくさんの方々に応援していただきました。本当にありがとうございました。



令和2年度 島根県高等学校バレーボール選手権大会  
兼 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選大会(女子)

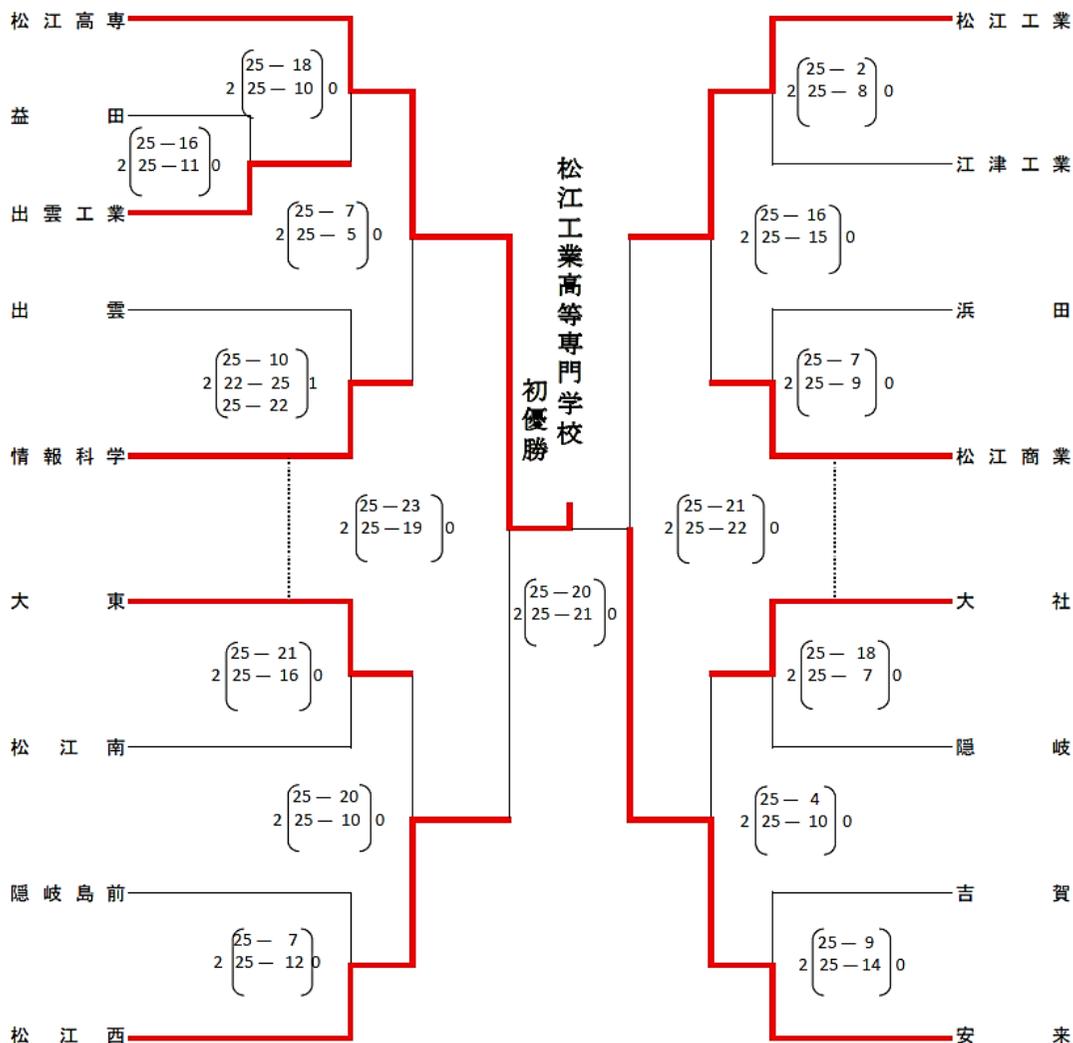


- 駒月 みやび (安来)
- 伊達山 紗来 (安来)
- 持田 実咲 (安来)
- 重田 夏希 (大社)
- 知念 陽菜 (津和野)**
- 岡田 紗羅 (石見智翠館)



ご来場、ご観戦、本当にありがとうございました。

令和2年度 島根県高等学校バレーボール選手権大会  
兼 第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会県予選大会(男子)



【大会予告】

大会名 令和2年度島根県高等学校新人バレーボール大会  
兼 第29回中国高等学校新人バレーボール大会島根県予選大会

開催日 令和2年12月18日(金)・19日(土)・20日(日)

会場 <主会場>江津市民体育館・島根県立体育館・浜田高等学校体育館

組合せ 抽選会 令和2年11月18日(水)・浜田高等学校  
※組合せが決定次第、津和野高校ホームページにアップします。

“ツコウ”の今をお届けします！

様々な情報発信を心がけています。  
ぜひホームページを訪れてみてください。  
学校生活や寮生活、部活動に関するニュース満載！  
<http://tsuwano.ed.jp/>

